

■After 建築名称 下段:英語名		UP CYCLE SALON 白山倉庫			 <p>After</p> <p>天井が撤去され鉄骨が露わになったサロン内観:左側にカウンターで囲まれたシェアキッチンが見える。</p> <p>撮影者:長谷川駿 提供者:JAMZA</p> <p>概要 after</p> <p>地域で親しまれてきた建物の部材や家具・備品のストックヤードを兼ねたサロンの周囲にシェアオフィスを配した複合施設。</p>		
建築用途	大分類 収藏施設、事務所	小分類 倉庫、シェアオフィス					
設計者	Mosaic Design + JAMZA		設計事務				
所在地	東京都文京区白山2-19-9 2F		Google Map				
改修年	2020年	元建築の竣工年	1960年頃				
建築規模 構造・階数・面積	延床面積:162m <sup>2</sup>						
掲載書誌							
賞・選定							
主な関連法規、条例、助成金 等							
関連組織 等	企画・運営:文京建築会ユース + Mosaic Design + ツツミエミコ + JAMZA						
資料等		資料の URL					
■Before 建築名称	倉庫			<p>概要 before</p> <p>元は印刷関係の会社の築58年の倉庫。その後廃業して失われてゆく地域の銭湯や旅館で使われていた品々の保管倉庫として使われていた。</p>			
建築用途	大分類 収藏施設	小分類 倉庫					
■写真 改修前の内観 Before			After	シェアキッチンでは、サロン利用者の会話が生まれる。			
			After	サロンに作られた引き取った部材を収蔵・展示する棚。			
撮影者 撮影:栗生はるか 提供者 提供:文京建築会ユース	撮影者 撮影:長谷川駿 提供者 提供:JAMZA		撮影者 撮影:桐原武志 提供者 提供者	撮影:桐原武志 2025年			
■関連タグ/リノベーションキーワード	用途変更、痕跡						
■リノベーション内容	<p>記憶を引き継ぐモノの倉庫を、地域の核となるアップサイクルな場へ  「文京建築会ユース」の活動により、解体された建物から引き取った建物の一部や物品が保管されていた倉庫であったが、ホコリを被ったまま収蔵するのではなく、地域の拠点として建物を活用してほしいというオーナーの想いもあり、多くの人が触れられる形でストック活用し、地域の記憶をモノを介して引き継ぎ、交流の場として活用するためのリノベーションが行われている。不要な壁や天井を撤去し、既存の鉄骨トラスを活かした大きな空間のサロンを設け、周囲に5部屋のシェアオフィスを配した構成となっている。サロンにはカウンターで囲まれたキッチンを配し、シェアオフィスの共用スペースとなるとともに、時間貸しで地域の人々もイベントや展示会などで活用できる、地域に開放されたスペースになっている。</p> <p>シェアオフィスの1室を集められてきた物品の倉庫として利用すると共に、サロンにも物品を展示・収蔵する棚が設けられている。さらに、銭湯だけでなく旅館、喫茶店などのものが随所に家具・備品として配されている。銭湯の脱衣ロッカーをオフィス利用者のための個人ロッカーにするなど役割を終えたものに新しい役割が与えられ、サロンを利用する人の目に触れる場ともなっている。</p> <p>建物が解体されるとき写真や実測などで記録しデジタルデータとして次世代に伝えるだけでなく、一部でも物として残すことで実感をもって記録と接することができ、物(アナログ)の保管の重要性がある。</p>						
■備考							
■作成者 氏名/所属	桐原武志 / Free 日本建築家協会再生部会	作成協力者	JAMZA、文京建築会ユース	整理番号	No226		